



待ち遠しい



二〇一七年二月に毎日新聞日曜版(日曜くらぶ)で連載がスタートした柴崎友香さんの小説「待ち遠しい」。主人公は三十九歳独身の北川春子。
春子や春子をとりに巻く人々の大阪弁の話し言葉が魅力的です。
送られてきた原稿を読んで、「描きたい」と思うものを毎週挿画として描きました。私の心に残った柴崎さんの文章も、原画と一緒に書き文字で展示しています。

青木ゆかり
64歳。春子の住む「離れ」の大家さん。夫は数年前に他界し、息子と娘がいるが、何か事情がある様子。おしゃべりでお節介。

北川春子
29歳。独身。一軒家の離れを借りて一人暮らし。大阪市内の会社に通勤している。おっとりした性格。

28話「沙希の主義、蟹フルコース」



遠藤沙希
25歳。ゆかりの妹の長男の妻。ゆかりの家の裏にある黄色い家に住む。言動がストレート。



4話「消しゴム、再び庭、訪問」



40話「生きるのがうまい」

柴崎友香さんとのトークショー

3月16日(土) 14時~15時

聞き手...浪川知子 芦屋市谷崎潤一郎記念館事務局長
会場...当館講義室
定員...40人(要予約)
料金...1000円(入館料込み)

柴崎友香 Tomoka Shibasaki

1973年大阪府生まれ。2000年に刊行されたデビュー作『きょうのできごと』が行定勲監督により映画化され話題となる。2007年『その街の今は』で芸術選奨文部科学大臣新人賞、織田作之助賞大賞、咲くやこの花賞。2010年『寝ても覚めても』で野間文芸新人賞、2014年に『春の庭』で芥川賞を受賞。小説作品に『ビリジアン』『パノララ』『わたしがいなかった街で』『週末カミング』『千の扉』、エッセイに『よう知らんけど日記』『よそ見津々』など著書多数。

赤井雅佳 Chica Akai

イラストレーター。大阪市生まれ。インターナショナル美術専門学校卒業。京都市在住。第9回HBファイルコンペ大賞(藤枝リュウジ賞)他受賞。雑誌『Coyote』のブックイラストレーションで注目を集める。新聞・雑誌の挿絵やエッセーなど、エディトリアル分野を中心に活躍。主な仕事:宮本輝氏の新聞連載小説「三十光年の星たち」「草花たちの静かな誓い」の挿絵。書籍の装画は、沢木耕太郎著『246』、宮本輝著『三千枚の金貨』『真夜中の手紙』、夏井いつき著『伊月集一龍』など多数。

赤井雅佳 在館予定日

13(水) 16(土) 17(日) 21(木) 23(土) 24(日)
13時~17時ごろまで

芦屋市谷崎潤一郎記念館 ロビーギャラリー

〒659-0052 兵庫県芦屋市伊勢町12-15
TEL:0797-23-5852 FAX:0797-38-3244
<http://www.tanizakikan.com>
開館時間 10時~17時(入館は16時30分、最終日は15時)
休館日 月曜日
入館料 一般300円、大・高生200円、中・小生無料
駐車場は隣接する美術博物館の駐車場をご利用下さい。

